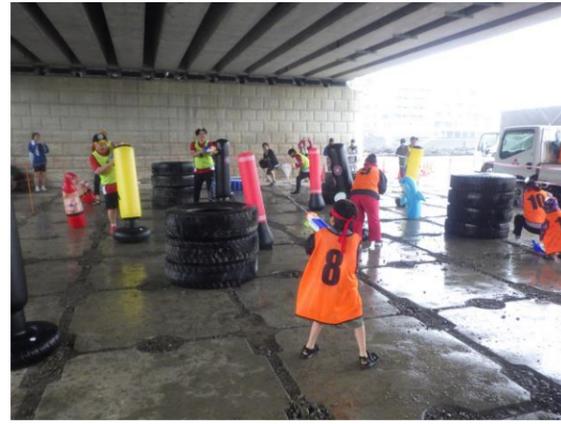


令和5年度 第3回 球磨川・人吉地区かわまちづくり協議会



令和6年2月27日



人吉市



国土交通省 八代河川国道事務所

(1) 前回協議会以降の報告

■かわまちづくり計画(変更)案に対する意見と対応

赤文字:かわまちづくり計画に反映した内容

<R5年度第2回協議会 (令和6年1月11日)>

- ・河川利用者の安全利用等メリットを考慮し、かわまちづくり計画範囲内(特に中川原公園及びHASSENBA付近)に**水面に直接アクセス可能なスロープ**を整備があるとよい。
⇒HASSENBA付近のスロープについては**城見庭園付近の整備メニューとして追加(P4、6、8)**。中川原公園は坂路工を予定している。
- ・**人吉橋のクリアランス不足の解消**は、今回の計画に含まれないのか。
⇒かわまち事業で実施するのは難しいが、課題としては認識しており引き続き検討していく。
- ・**中川原公園のトイレ整備**が必要。
⇒復旧工事の中でトイレ整備について検討中。2/8の中川原公園WSで最終案を示す予定。
- ・山田川合流部の飛び石の漂流物及び景観へ配慮した整備が必要。
⇒環境、景観の配慮についてこれから検討する予定。
- ・賑わいの拠点となる青井阿蘇神社周辺の**参道整備、広場整備**の中で利活用の検討も必要。
⇒賑わいの拠点としてハード施策と併せてソフト施策についても検討する。
- ・堤防右岸側を連続して歩けるようになるとうい。**橋と堤防が交差する地点に横断歩道を設置**することはできないのか。
⇒警察協議等も必要で難しいと思われるが、意見については承知した。
- ・**胸川合流点付近のトイレ、駐車場、広場整備**の追加を検討してほしい。
⇒かわまちづくり計画の胸川合流点付近の整備案にはないが、中川原公園の復旧工事との関連も含め、意見については承知した。
- ・青井神社周辺及び中心市街地の**駐車場計画**があれば、今後の方針を教えて欲しい。
⇒現時点で、両地域に具体的な駐車場計画はなく、今後ランドデザイン及び市全体の公共交通も見据えて検討していく必要があると考えている。

<R5年度第6回実行委員会 (令和6年2月14日)>

★計画(変更)案について承認をいただいた。

- 以下の指摘をいただいた。
 - ・山田川付近は、**市整備**も関係しているので、パース図、整備メニューに反映できるとよい。
⇒**山田川のパース図と整備メニュー修正(P4、5、8)**。
 - ・中川原公園のパース図に**水上アクティビティ感**がない。また、**普段使いのイメージ**も必要
⇒**中川原公園のパース図修正(P6)**。
 - ・前回からの変更点として、**夜の魅力**(利活用)が追加されているので、堤防道路の整備イメージ(パース図)に夕方や夜のイメージがあるとよい。
⇒**堤防道路のパース図を夕方のイメージに修正(P7)**。
 - ・【整備、運営及び維持管理の役割分担(案)】に、**「人吉市復興デザイン会議」の情報**を追加すると良い。
⇒**「人吉市復興デザイン会議」の情報を追加(P14)**。
 - ・人を呼び込んでいくにあたっては、**駐車場が重要**となる。駐車場に関する詳細検討や民間の駐車場も含め市内で利用可能な駐車場の周知等が必要だろう。
⇒街全体を結ぶ話になるため、今後設立予定の復興デザイン会議等で議論を進めていく。
 - ・中川原公園は出水期でのアクティビティの試行や車両駐車なども検討してほしい。
⇒今後、利活用いただく民間事業者の意見も踏まえながら、ルールを検討していく。
- ・**中川原公園のトイレの位置や形式**はまだ検討したほうが良い。
⇒今後の社会実験等で公園の使い方等を確認しながら検討を深めていきたい。

【新しい目標像(案)】

**相良700年の歴史、継承される舟運文化、悠久の清流球磨川が
作る昼夜の魅力を伝えるかわまちづくり**

【基本構想(案)】

●河畔散策路による遊歩街・回遊街を創出します。

- ・河畔散策と街中散策の動線を確保
- ・この動線と公共交通網を接続して日本遺産、名勝、温泉等地域資源を周遊
- ・夜の球磨川河畔を安全に楽しく散策できる動線を確保

●人吉球磨舟運文化の継承と川遊び拠点を創出します。

- ・水辺を整備することによる川下りや屋形船などの舟運文化の継承
- ・きれいな川で子どもも大人も安心、安全に遊べる川遊び場の創出
- ・球磨川をはじめとする自然について学び、大切にすることを養う環境学習の場の創出

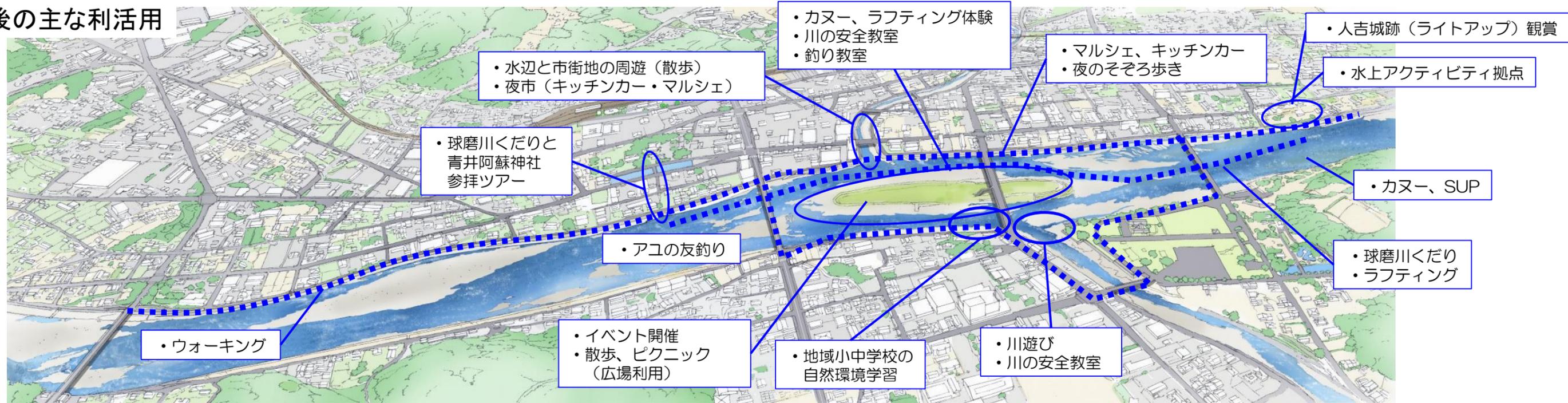
●「かわ」と「まち」が一体となった滞在型観光化を目指します。

- ・歴史めぐりや人吉温泉、ライトアップなど昼と夜の魅力を体験できる観光メニューの開発を検討
- ・マルシェなどの定期開催による“かわまち”一体となった演出による地域経済の活性化
- ・防災意識の大切さを伝えていくとともに、球磨川の魅力も発信できるような観光メニューの開発を検討

(2) かわまちづくり計画の変更について (利活用・整備計画案)

前回会議で承認済

■ 整備後の主な利活用



■ 年間利活用イメージ(案)

イベント利用 日常利用 既存イベント

整備箇所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①青井阿蘇神社～球磨川	←					球磨川くんだりと青井阿蘇神社参拝ツアー		● 夏越し祭り		● おくんち祭り →		
②山田川合流部	←					夜市(キッチンカー・マルシェ)		→				
	←					水辺と市街地の周遊(散歩)		→				
③中川原公園	←				イベントの開催		カヌー・ラフティング体験、川の安全教室、釣り教室		→			
	←					散歩、ピクニック(広場利用)		● 人吉花火大会		→		
④城見庭園	←		● 川開きまつり		水上アクティビティ拠点(カヌー、ラフティング、SUP等)		人吉城跡(ライトアップ)観賞		→			
	←					川の安全教室		川遊び		→		
⑤胸川合流部付近	←					マルシェ、キッチンカー		→				
	←					ウォーキング、夜のそぞろ歩き		→				
⑥堤防道路	←					マルシェ、キッチンカー		→				
	←					ウォーキング、夜のそぞろ歩き		→				

※これまでの実行委員会、協議会等でいただいた意見をまとめた今後の利活用イメージです。
 なお、利活用の具体化については、今後も引き続き検討を行います。

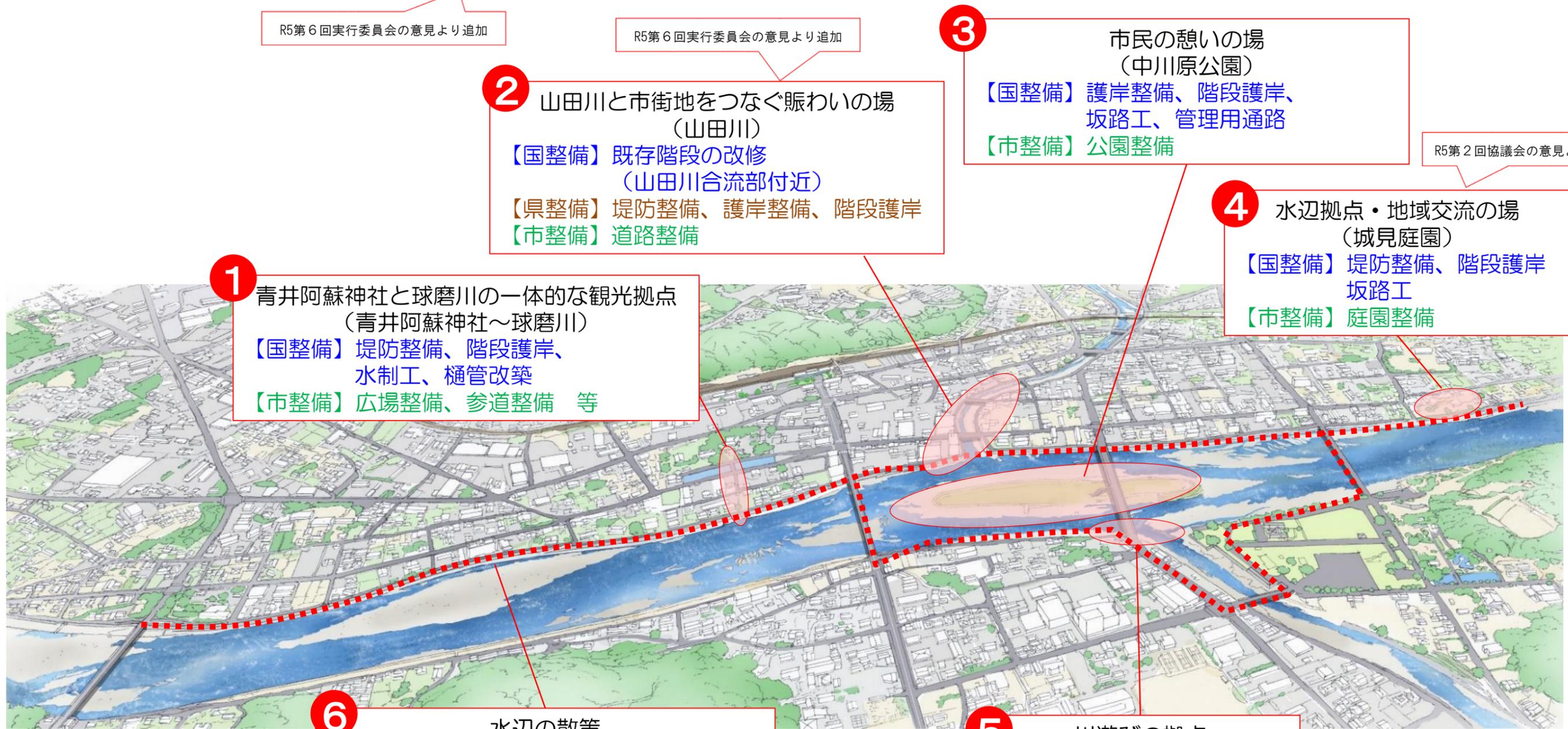
(2) かわまちづくり計画の変更について (利活用・整備計画案)

要承認

整備内容

- 国**：堤防整備、護岸整備、階段護岸、水制工、樋管改築、坂路工、管理用通路、床固工、既存階段の改修、管理用通路の改良（舗装等）
- 県**：堤防整備、護岸整備、階段護岸
- 市**：広場整備、参道整備、公園整備、庭園整備、道路整備、案内看板、照明 等

- ※ 整備メニューの具体化については、今後の実行委員会において協議していく予定
- ※ 整備メニューに対する地域の方々の運営や利活用イメージについては、議論を進めていく予定



1 青井阿蘇神社と球磨川の一体的な観光拠点
(青井阿蘇神社～球磨川)
【国整備】堤防整備、階段護岸、水制工、樋管改築
【市整備】広場整備、参道整備 等

2 山田川と市街地をつなぐ賑わいの場
(山田川)
【国整備】既存階段の改修 (山田川合流部付近)
【県整備】堤防整備、護岸整備、階段護岸
【市整備】道路整備

3 市民の憩いの場
(中川原公園)
【国整備】護岸整備、階段護岸、坂路工、管理用通路
【市整備】公園整備

4 水辺拠点・地域交流の場
(城見庭園)
【国整備】堤防整備、階段護岸、坂路工
【市整備】庭園整備

6 水辺の散策
(堤防道路)
【国整備】管理用通路の改良（舗装等）
【市整備】照明、案内看板

5 川遊びの拠点
(胸川合流部付近)
【国整備】床固工、階段護岸
【市整備】案内看板

利活用イメージ
(整備箇所)
【国整備】国の整備内容
【県整備】県の整備内容
【市整備】市の整備内容

R5第6回実行委員会の意見より追加

R5第6回実行委員会の意見より追加

R5第2回協議会の意見より追加

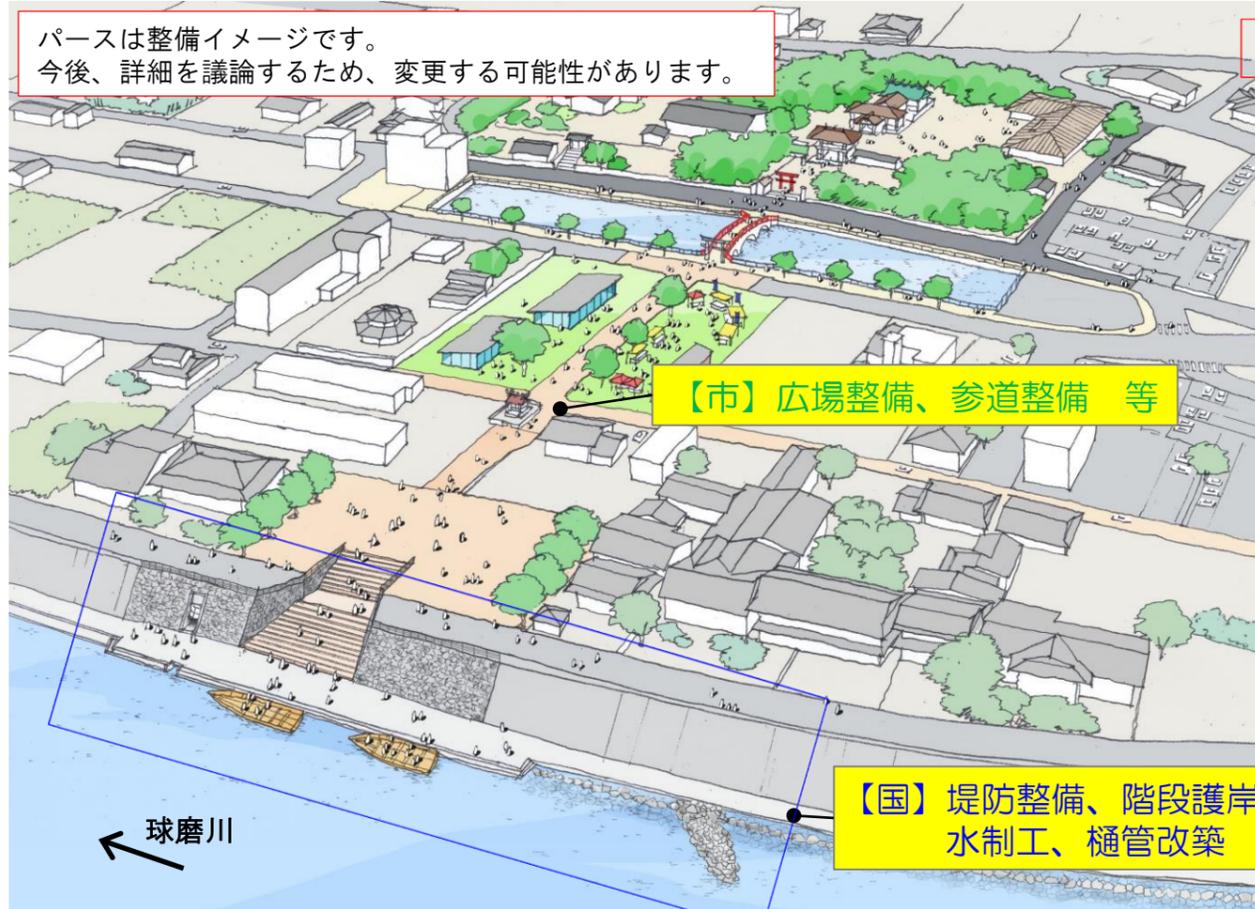
(2) かわまちづくり計画の変更について (利活用・整備計画案)

要承認

1 青井阿蘇神社～球磨川

- 【国整備】 堤防整備、階段護岸、水制工、樋管改築
- 【市整備】 広場整備、参道整備 等

パースは整備イメージです。
今後、詳細を議論するため、変更する可能性があります。



※整備等にあたっては河川環境に十分配慮します。

●位置図

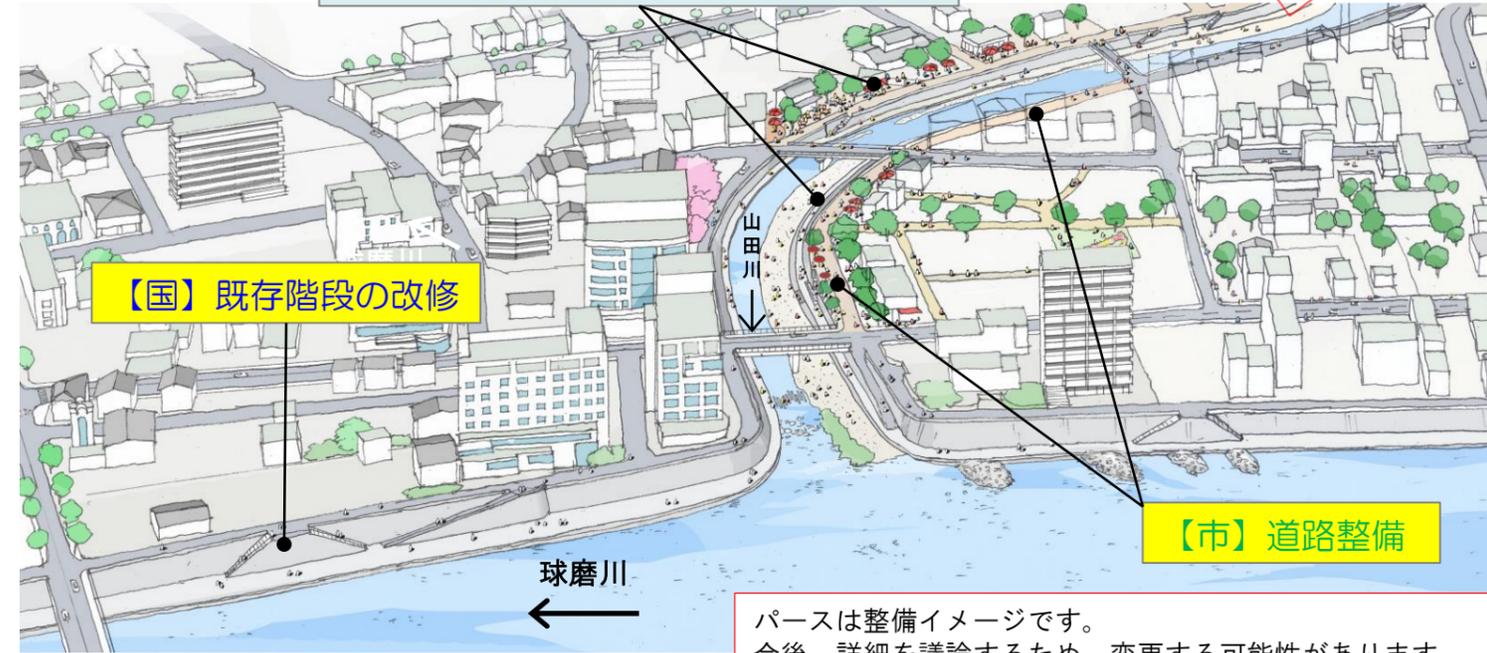


2 山田川

- 【国整備】 既存階段の改修 (山田川合流部付近)
- 【県整備】 堤防整備、護岸整備、階段護岸
- 【市整備】 道路整備

R5第6回実行委員会の意見より追加

R5第6回実行委員会の意見より追加



パースは整備イメージです。
今後、詳細を議論するため、変更する可能性があります。

※県整備は別事業で検討中

●位置図



R5第6回実行委員会の意見より追加

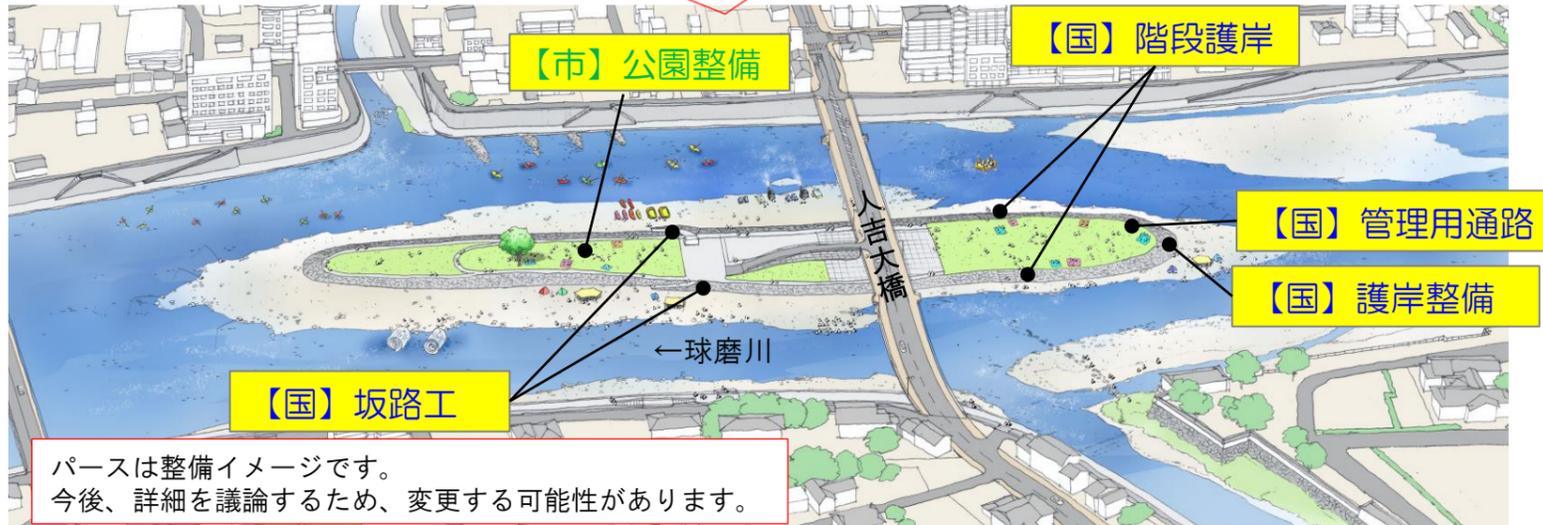
(2) かわまちづくり計画の変更について (利活用・整備計画案)

要承認

3 中川原公園

【国整備】護岸整備、階段護岸、坂路工、管理用通路
 【市整備】公園整備

R5第6回実行委員会の意見より追加



パースは整備イメージです。
 今後、詳細を議論するため、変更する可能性があります。

※護岸整備等にあたっては多自然かわづくりを推進します。

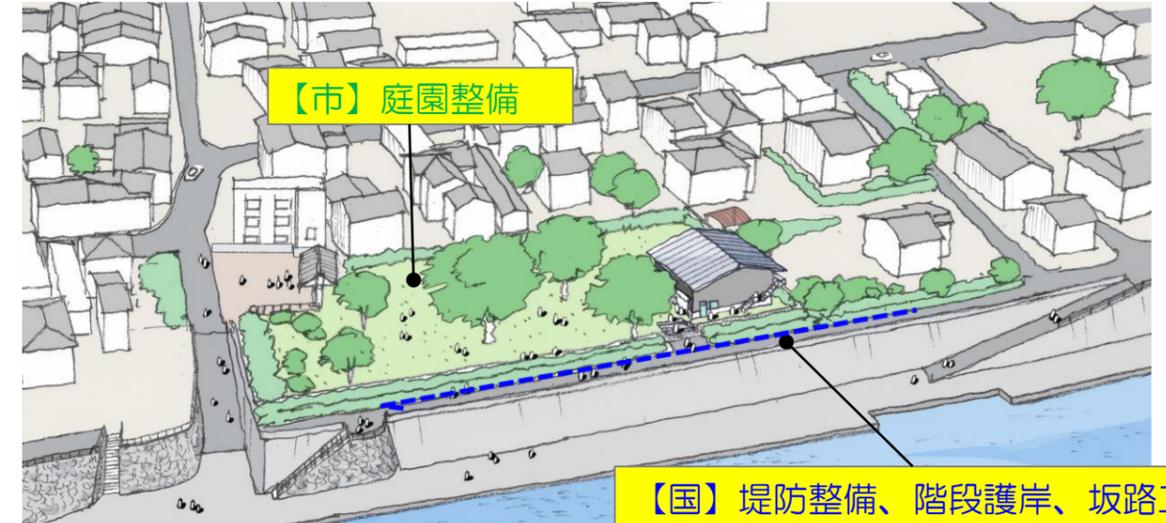
●位置図



4 城見庭園

R5第2回協議会の意見より追加

【国整備】堤防整備、階段護岸、坂路工
 【市整備】庭園整備



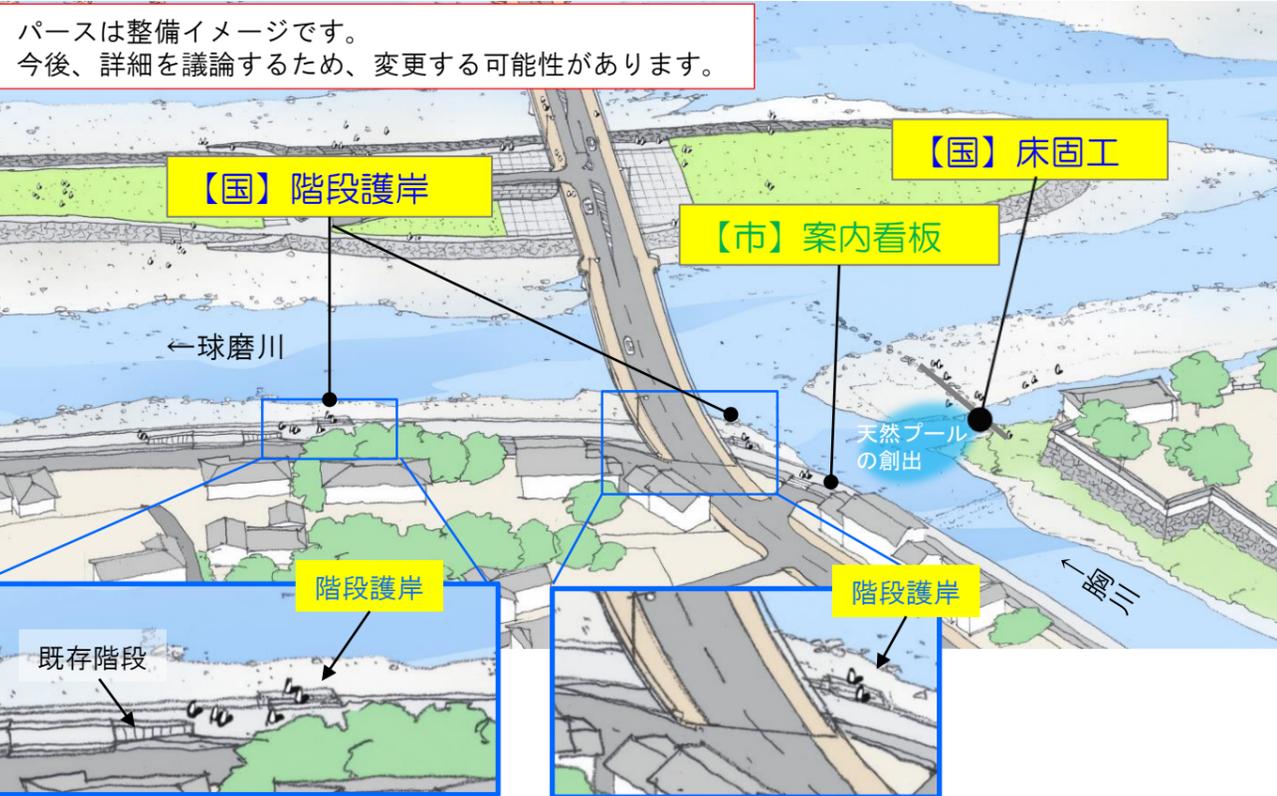
パースは整備イメージです。
 今後、詳細を議論するため、変更する可能性があります。

●位置図



5 胸川合流部付近

- 【国整備】 階段護岸、床固工
- 【市整備】 案内看板



※整備等に当たっては河川環境に十分配慮します。

●位置図



6 堤防道路

- 【国整備】 管理用通路の改良 (舗装等)
- 【市整備】 照明、案内看板



R5第6回実行委員会の意見より追加

●位置図



(2) かわまちづくり計画の変更について（利活用・整備計画案）

要承認

想定される使い方や取組み※に係る整備内容

整備箇所	整備内容	想定される使い方や取組みに係る整備内容
① 青井阿蘇神社～球磨川	<p>【国整備】 堤防整備、階段護岸、水制工、樋管改築</p> <p>【市整備】 広場整備、参道整備 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> HASSENBAから出発した舟やラフティングが青井阿蘇神社に通じる堤防下に着岸可能となり、さらに、そこから参道を通して参拝が容易になるなど、水上利用と歴史文化めぐりの一体的な観光利用に取組むため、青井阿蘇神社と球磨川をつなぐ整備（階段護岸や船着場、広場・参道整備等）を行います。
② 山田川	<p>【国整備】 既存階段の改修（山田川合流部付近）</p> <p>【県整備】 堤防整備、護岸整備、階段護岸</p> <p>【市整備】 道路整備</p> <p>R5第6回実行委員会の意見より追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 球磨川～山田川～市街地の動線が改善され、散歩など日常利用を促進するとともに、山田川沿いでマルシェや夜市を開催するなど、市街地と一体となった昼夜の賑わいの場の創出に取組むため、山田川の堤防、護岸、階段整備、付近の道路整備、山田川合流部付近の水際から堤防への既存階段の改修を行います。
③ 中川原公園	<p>【国整備】 護岸整備、階段護岸、坂路工、管理用通路</p> <p>【市整備】 公園整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中川原公園は、人吉市のシンボルとして地域住民に親しまれる場所であり、イベント開催や日常の憩いの場として賑わいづくりを進める上で、安心・安全に利用できるよう護岸整備等を行います。 利用促進や安全な利用のため、イベント情報や利用ルール等を示した案内看板、トイレ等を設置します。
④ 城見庭園	<p>【国整備】 堤防整備、階段護岸、坂路工</p> <p>【市整備】 庭園整備</p> <p>R5第2回協議会の意見より追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 城見庭園と球磨川のアクセスの改善による親水性の向上、水上アクティビティ利用の利便性向上に加え、球磨川にみる自然景観と対岸の人吉城跡にみる歴史景観の織り成す絶景をより身近に感じる場を創出し、地域住民の憩いの場や観光スポットとしての利用促進に取組むため、階段護岸等の整備、庭園整備を行います。
⑤ 胸川合流部付近	<p>【国整備】 階段護岸、床固工</p> <p>【市整備】 案内看板</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安全に川遊びができる場所として、また、環境学習の場として、川を大事にする心を育み、川の文化を伝えていく場の創出に取組むため、天然プールの創出（床固工）と安全に降りられる階段を整備します。 安全な利用のため、利用ルール等を示した案内看板を設置します。
⑥ 堤防道路	<p>【国整備】 管理用通路の改良（舗装等）</p> <p>【市整備】 照明、案内看板</p>	<ul style="list-style-type: none"> 球磨川沿いでのキッチンカーやマルシェ、日常的な夜の散策など、観光客も地域住民も楽しめる賑わいづくりを推進するため、堤防道路の改良等整備します。 かわとまちの回遊を促進するため、拠点の紹介等を示した案内看板、照明を設置します。
全体		<ul style="list-style-type: none"> HASSENBA～くまりばを中心軸として、人吉城跡や人吉市街地、温泉、青井阿蘇神社などの観光資源をネットワーク化し、観光客の回遊性を高めるとともに、地域住民のウォーキング、ランニングなどの日常利用についても促進していきます。

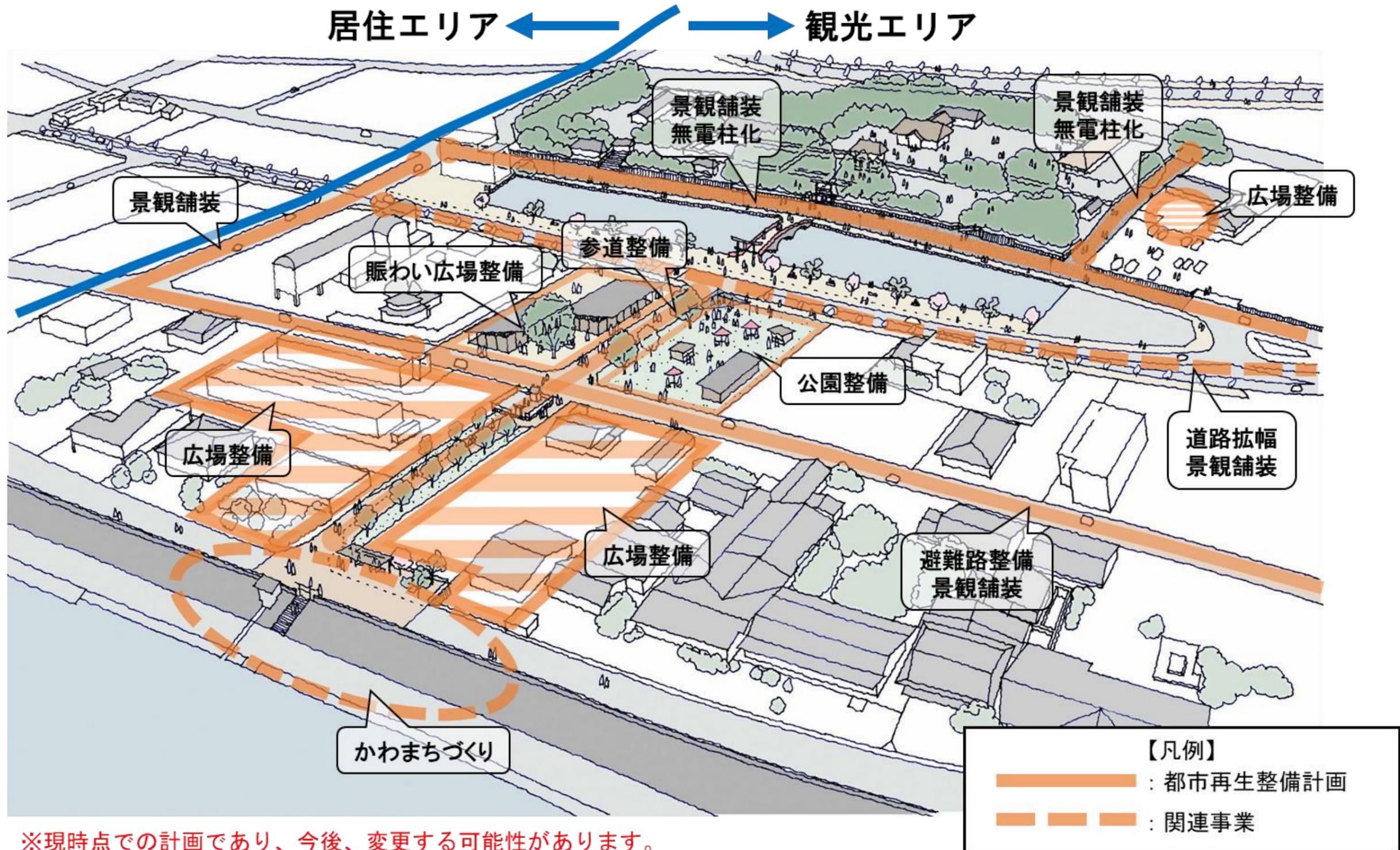
※「想定される使い方や取組み」はこれまでの実行委員会、協議会等でいただいた意見をまとめた今後の利活用イメージです。整備内容と合わせてご確認ください。

河川を利用する上で安全面における取組み

- R5.5.13に実施した社会実験では、「球磨川・人吉地区かわまちづくり協議会」に所属する球磨川Safety Kid's Labo主催の「川の安全教室」を予定していましたが、雨天のため中止となりました。
- また、「球磨川・人吉地区かわまちづくり実行委員会」において、水上アクティビティや防災関係者を対象とした「川の安全教室」等の開催により、指導者の育成を図りたいとの意見もありました。
- このような協議会や実行委員会での意見を踏まえ、河川利用上の安全面向上を目的として、子どもや親子連れを対象にした「川の安全教室」や水上アクティビティをはじめとする川遊びの指導者の育成等を検討していきます。

(2) かわまちづくり計画の変更について（他事業との連携）

青井地区における復興まちづくり整備計画（案）



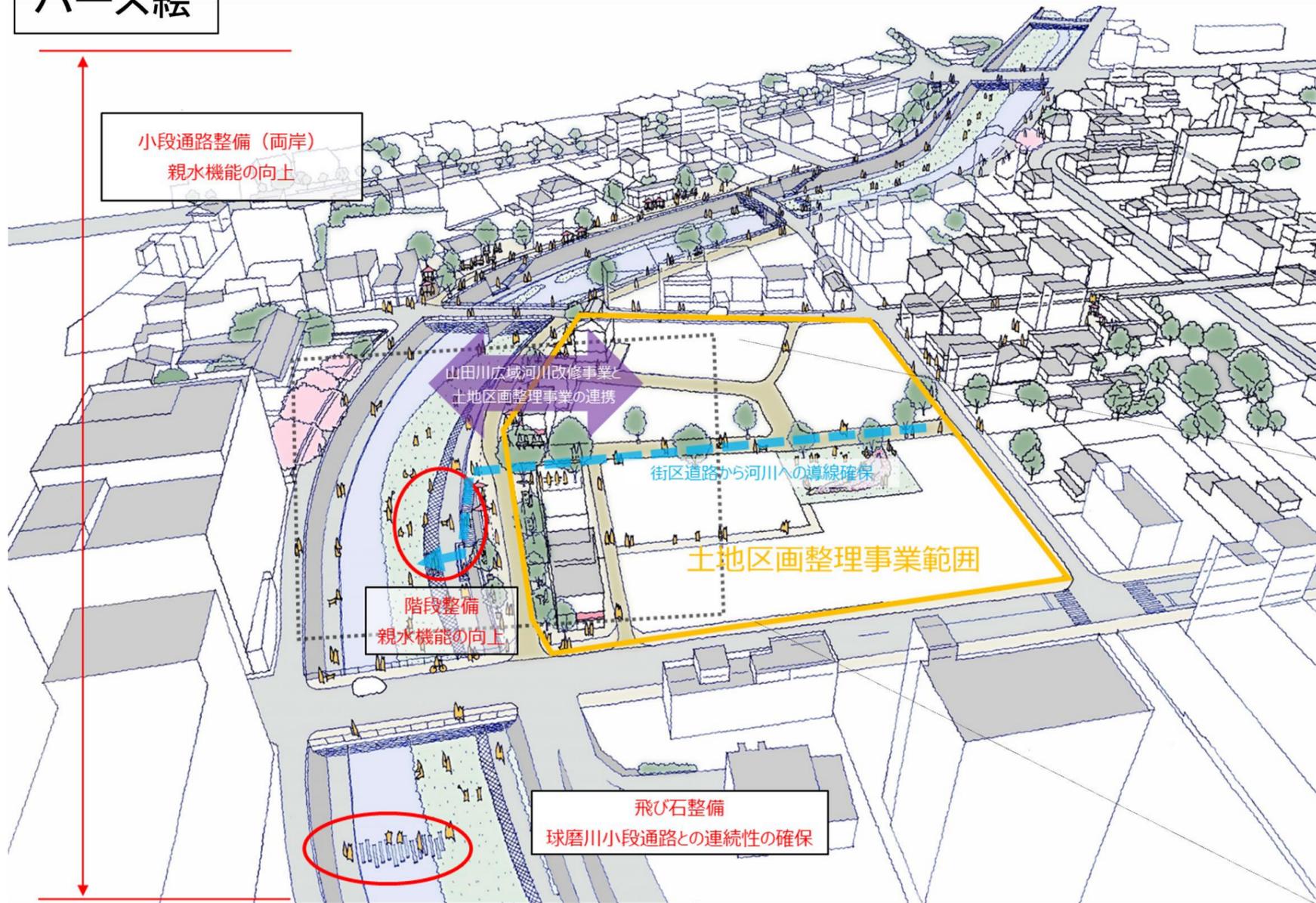
※現時点での計画であり、今後、変更する可能性があります。

※「第7回会青井復興まちづくり推進委員会」資料から抜粋した内容になります。
(令和5年8月23日時点)

(2) かわまちづくり計画の変更について (他事業との連携)

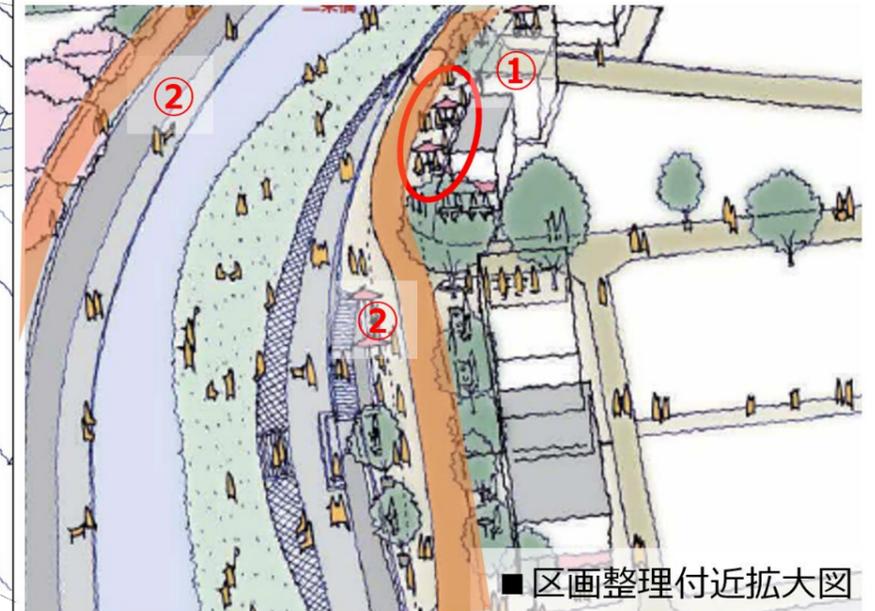
山田川広域河川改修事業及び紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業について

パース絵

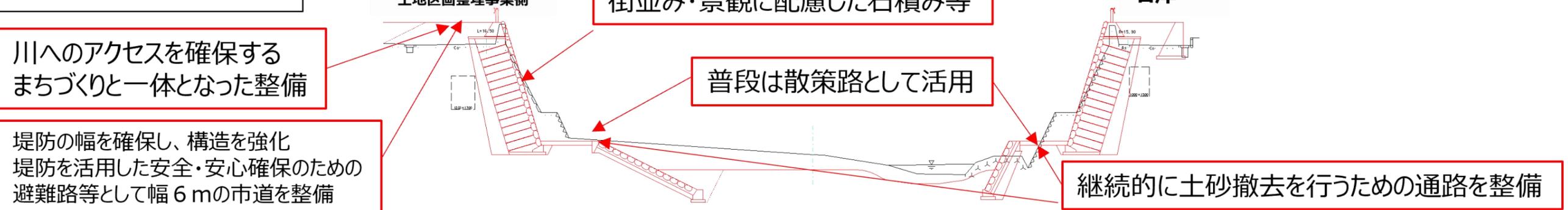


■ 中心市街地復興まちづくり推進協議会との連携 (頂いた意見)

- ① 区画整理範囲と面する今回の河川改修で整備する6mの堤防道路について賑わいを創出するため2mの道路占用を行い飲食店のテラス席等を設けてはどうか。
- ② 区画整理に面した堤防道路だけではなく、山田川整備区間全域における賑わい創出等を念頭に河川管理用通路の活用に向けた検討をした方がよいのではないか。



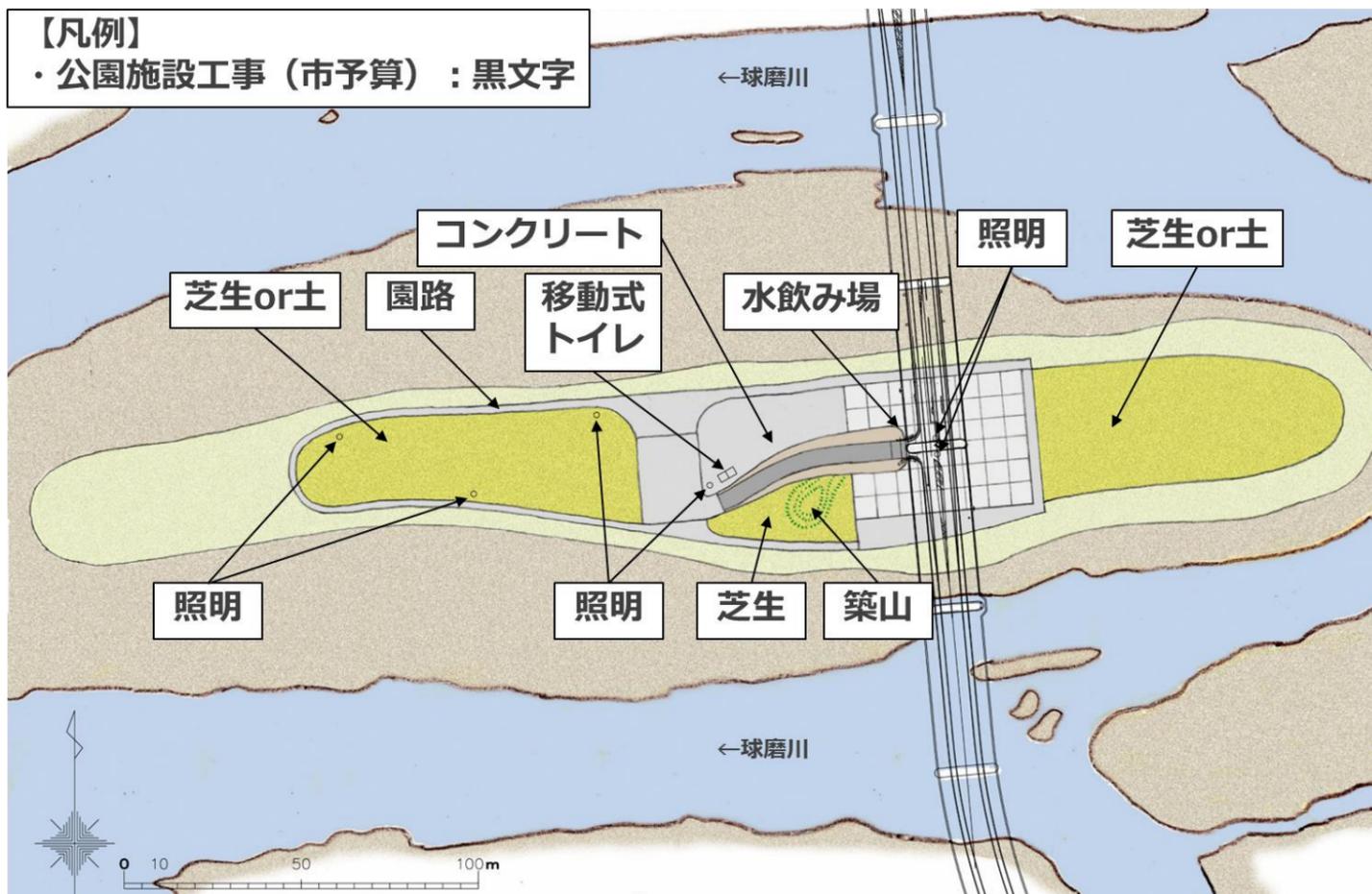
横断図 ※ 上流から見た図



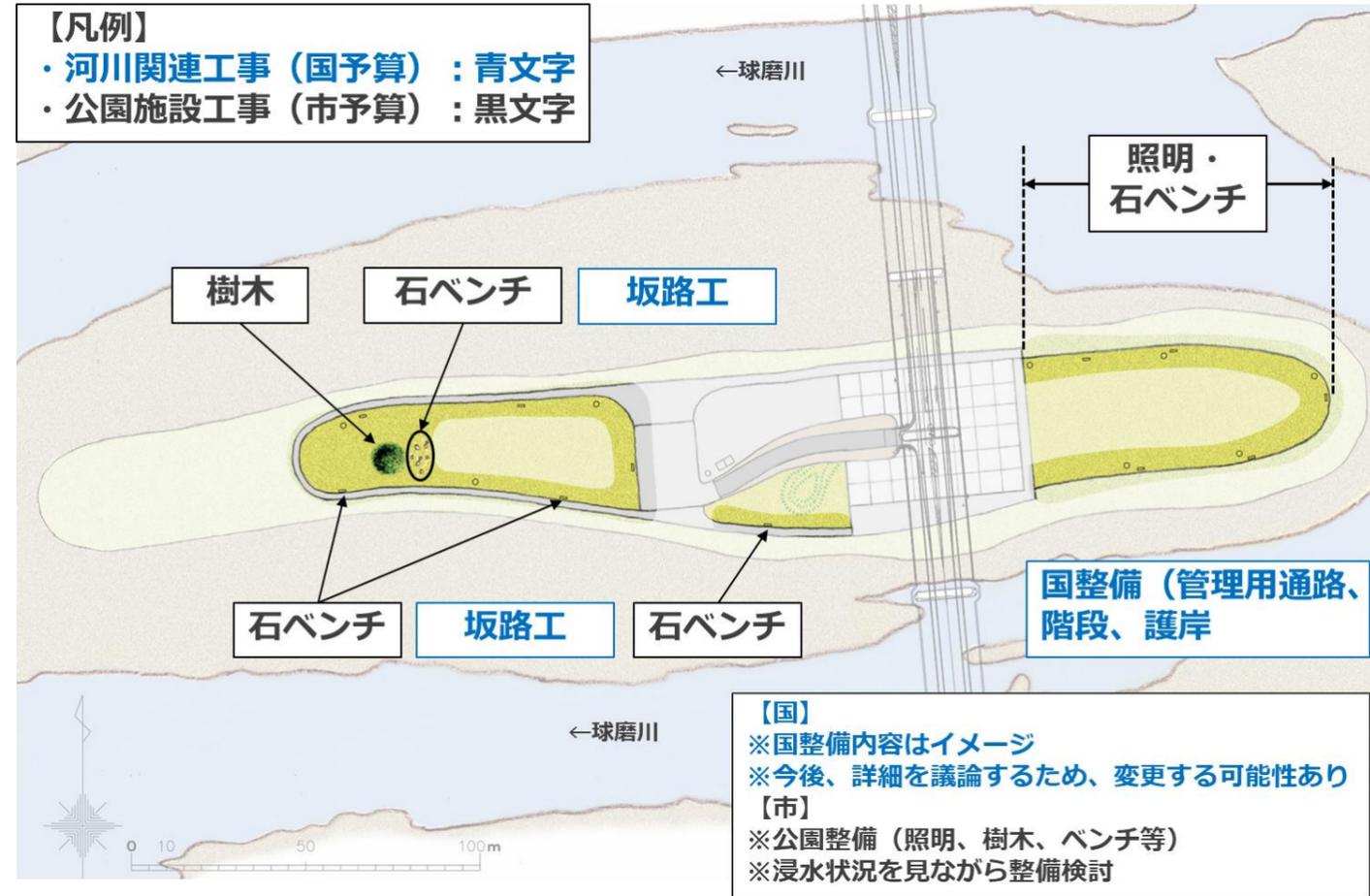
(2) かわまちづくり計画の変更について (他事業との連携)

中川原公園整備イメージ

整備プラン① (R5~R6年度)



整備プラン② (R8年度以降)



(2) かわまちづくり計画の変更について（他事業との連携）

中川原公園整備に関する利活用案と令和6年度の社会実験

■ 利活用案のための社会実験（令和6年度）

目的：被災前の課題であった駐車等の利用マナー、今後の浸水リスクを含めた運用の検討

- ①梅雨明け後の1ヶ月間程度開放し、日常的には**徒歩**、週末の日中限定で**車両の乗入れ可**とし、利用状況を確認
- ②社会実験中は**公園内の照明・手洗い・トイレが未整備のため**、九日町側にある既設トイレ利用や夜間の公園閉鎖
- ③その他、**かわまちづくり協議会と連携したイベントの実施**



それぞれの利用者の意見や今後の課題などを抽出

■ 令和7年度以降の利活用案

	アクティビティの試行	車両駐車	公園内トイレ	
非出水期 (10月～翌5月)	○ (週末1日のみ)	○ (週末1日のみ)	○	
出水期 (6月～9月)	×	×	×	(市有地に移動)

【整備、運営及び維持管理の役割分担(案)】

R5第6回実行委員会の意見より追加

- ・ 「人吉市復興デザイン会議」等での議論を踏まえ、国・自治体・地域住民と一緒に検討を行う予定。
- ・ また、これから協議する具体的な利活用に併せて維持管理の試行を行うなど、今後も幅広く呼びかけながら、段階的に最適な維持管理形態を決定していく予定。

●運営・維持管理における役割分担の基本

国土交通省：施設の管理・補修等（堤防、階段護岸、坂路、管理用通路等）

人吉市：施設の管理・補修等（広場、参道、公園、庭園等）

地域住民：利用者（地域住民や市民団体等）が、日常的に利用している箇所の除草や清掃等を行う。

民間事業者：人吉市から委託を受け、営利活動を含む運営や維持管理（除草、清掃等）を行う。

(3) 今後のスケジュール

■R6年度の目標

利活用の実践の取組みや社会実験等、かわまちづくり計画の推進、整備計画の具体化

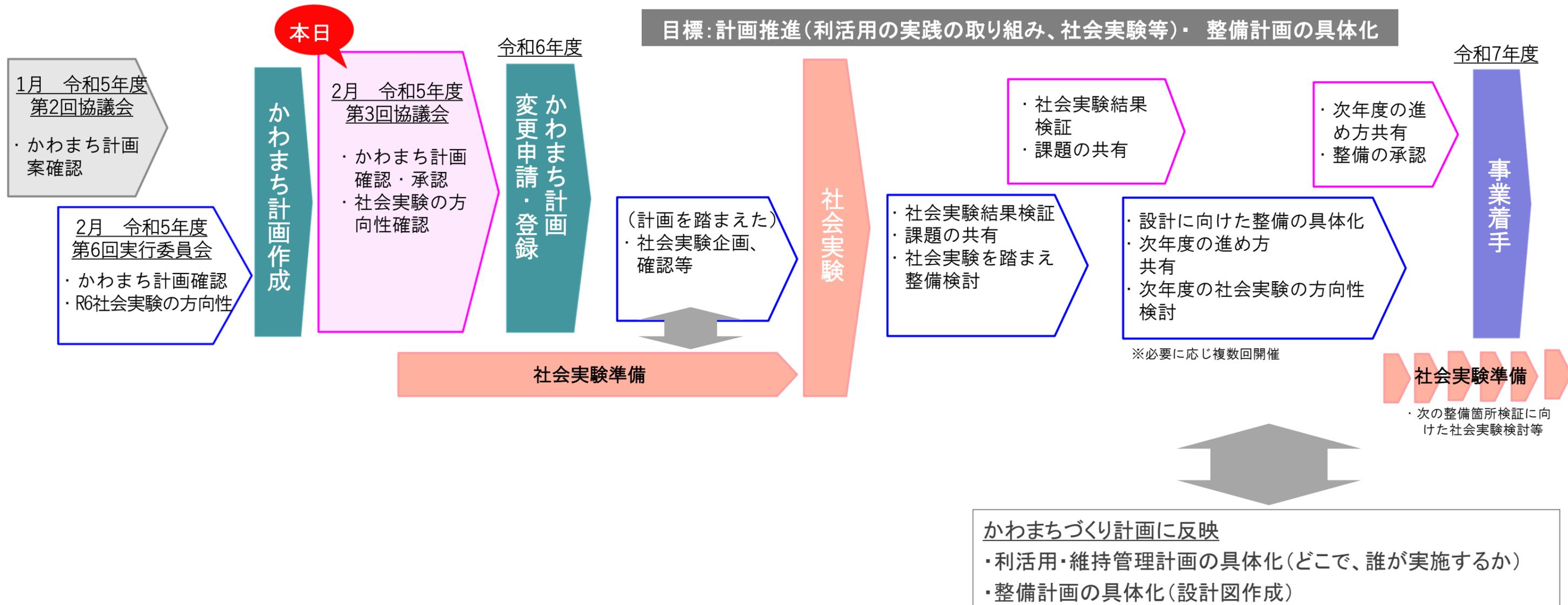
●協議会

・R7年度の整備内容の承認。

●実行委員会

・かわまちづくり計画を踏まえ、今後の利活用・維持管理を見据えた社会実験の企画、実施。

・社会実験結果を踏まえた整備プランの見直し(設計へのフィードバック)。

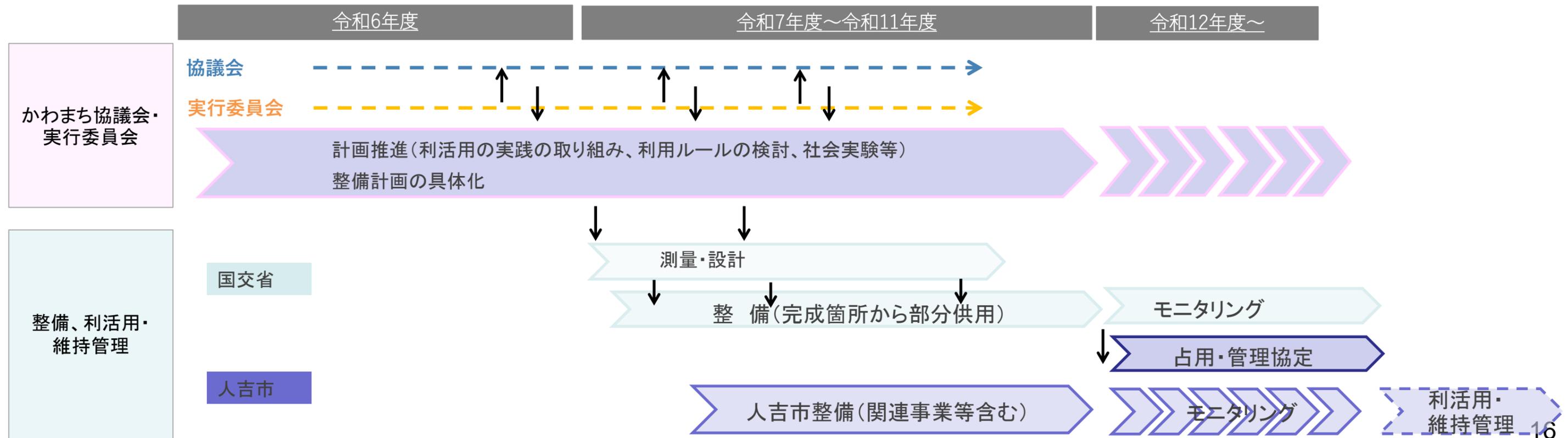


(3) 今後のスケジュール

■今後のスケジュール

	R4年度						R5年度									R6年度				R7年度以降										
	計画検討						事業化									計画実行														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月								
協議会		● 11/21協議会 (実行委員会設立について)			● 3/1協議会 ・現地視察の振り返り ・社会実験案の確認					● 8/22協議会 ・社会実験の振り返り ・WG等これまでの意見報告 ・利活用、整備プランの協議				● 1/11協議会 ・かわまち計画案の確認		● 2/27協議会 ・かわまち計画の確認・承認 ・R6年度の流れ				● 第1回協議会 ・社会実験の振り返り ・整備計画検討	● 第2回協議会 ・整備計画の承認		協議会の継続実施 かわまちづくり計画の推進 (実施状況の確認、具体計画の確認)							
実行委員会	● 10/18準備会 ・かわまちづくりで目指す地域像	● 11/29実行委員会 ・利活用方法の検討 ・社会実験の企画・立案	● 1/23-24 第2回実行委員会 ・現地視察	● 2/13 第3回実行委員会 ・現地視察振り返り ・社会実験の企画	● 3/7準備会	● 3/23実行委員会 ・社会実験の企画	● 4/24 第1回実行委員会 ・社会実験内容最終確認	● 5/8準備会	● 6/12 第2回実行委員会 ・社会実験の振り返り ・次回社会実験の意見交換 ・今後進め方の共有	● 7/31 第3回実行委員会 ・目標像 ・利活用、整備プランの検討	● 8/22協議会	● 9/22 第5回実行委員会 ・かわまち計画案の検討 ・アンケート実施の確認	● 10/9 おくくんち祭りアンケート	● 11/12 人吉温泉まつりアンケート	● 12/4 第5回実行委員会 ・かわまち計画案の確認 ・社会実験案の確認	● 1/11協議会	● 2/14 第6回実行委員会 ・かわまち計画案の確認 ・社会実験の企画		● 第1回実行委員会 ・社会実験案確認	● 第2回実行委員会 ・社会実験の振り返り ・整備計画検討	● 第3回実行委員会 ・整備計画検討 ・R7年度の社会実験企画		実行委員会の継続実施 社会実験の継続実施							
事務局の動き	● 10/24現地説明会 ・かわまちづくり協議会再開						● 4/17準備会	● 5/8準備会	● 6/12 第2回実行委員会	● 7/31 第3回実行委員会	● 8/22協議会	● 9/22 第5回実行委員会	● 10/9 おくくんち祭りアンケート	● 11/12 人吉温泉まつりアンケート	● 12/4 第5回実行委員会	● 1/11協議会	● 2/14 第6回実行委員会	● 2/27協議会	● 第1回実行委員会	● 第2回実行委員会	● 第3回実行委員会		● かわまちづくり計画申請(4~6月) ● 登録(8月)	● 整備検討(概略設計等)	● 反映	● 反映	● 反映	● 反映	● 協議会、実行委員会の運営 (意見とりまとめ、かわまちづくり計画への反映)	● 測量・詳細設計・整備

■事業着手後のスケジュール



(4) 今後の社会実験について

- ・ 第6回実行委員会(令和6年2月14日)では、中川原公園を中心に意見交換を行った。

■主な意見

【中川原公園について】

- ・ 中川原公園は、日常的に人が集まる場所にしたい。例えば、自動で定期的に噴水がでることで、いつ行っても楽しい場所にするなど。
- ・ かわまち計画の目的は「川がある日常の定着」であり、日常的に人が集まって、憩いの場として利用してもらうための仕掛けが必要ではないか。
- ・ 長期的な中で何か仕掛けをうちながら、どのような人の集まり方があるのかを確認する社会実験もよいと思う。
- ・ 橋にブランコをぶら下げるといった仕掛けも良いのではないか。
- ・ 日常利用に定期的なコンテンツ(イベント等)が加わるイメージで進めてはどうか。コンテンツを提供してくれる人(団体、事業者等)や日常利用の楽しみ方を提供する人(団体、事業者等)を探すことも必要だと思う。
- ・ 日常的に使ってもらう仕掛けと併せて、イベントを実行委員会以外の団体に実施してもらう。実行委員会では日常利用のベースづくり、場の提供、良い場所作り(ルール作り)等の役割を担う、といったような体制づくりを考えていく必要がある。
- ・ 利用申請する際に、利用についてのアンケート調査を行えばどうか。
- ・ 市街地とのつながりを意識して社会実験をしないと意味がない。

【スキームについて】

- ・ イベント等を実施したい人に場を提供してはどうか。併せて、場を活用したい人を探していくことも必要ではないか。
- ・ 社会実験のアイデアについて、実行委員会以外からのアイデアを公募してはどうか。
- ・ 中川原公園では、工事を実施しない期間であれば社会実験が可能なので、7月から9月に行う社会実験を公募してはどうか。
- ・ スキームを作る社会実験でもよいのではないか。
- ・ 活用に関して情報を外に向けて発信することで、外部から「使いたい」等の声があがるかもしれない。

【R6年度社会実験について】

- ・ R6年度の社会実験は、「①整備内容の詳細検討のために意見収集する」、「②整備後も継続して使っていくきっかけを作る」ことを中心に考えていく必要がある。
- ・ 将来的なイベント等の定着につなげていきたい。
- ・ 社会実験が、5年、10年を見据えて使い方を考えていくきっかけになるとよい。
- ・ 水上アクティビティは、単発のイベントでも人が集まれば収益が確保できるので、継続して実施していいのではないか。
- ・ 地域の人々が興味を持って集まってきてくれることを実施する必要がある。地域の人々が集まれば、観光客も集まると思う。
- ・ 工事がひと段落して、中川原公園の状態が見えることで、社会実験のアイデアも具体的にイメージができると思うので、工事の状況にあわせて、その時の状況でできることをやっていくとよいのではないか。

■社会実験の進め方(案)

(日常的な楽しみ方)

- ・ 散歩
- ・ ピクニック
- ・ 魚釣り
- ・
- ・
- ・

(定期的なイベント等)

- ・ 団体や事業者等、公的機関以外の者が継続的に実施できるような仕組みづくりが必要



令和6年度から
試しに使ってもらいながら
ニーズや課題等を把握し
改善につなげていく
取り組みを実施

例えば…
(公募)
↓
(選定)
↓
(イベント等の実施)

それぞれの段階での
ルールづくりを検討